



大原 功 議員

桜小学校マンモス化に対し 早く学校建設を

問

3月の一般質問で、(桜小学校マンモス化に対応した)学校建設はできるだけ前向きにという話であったので、平島地区の住民は大変喜んでいいる。

つくる以上は国・県の補助金が要るわけだが、陳情に行ったのか。

答 市長

国とか県の担当所轄とも話をしているので、これからはしっかりと、こういったネットワークの中でこの問題について考え、努力していきたい。

問

(旧弥富中学校の跡地は)立入禁止等の看板が立っており、災害時、避難場所として入れない。早く学校をつくることで避難場所にもなる。

平島町は約7、000人の住民が住んでいる。区画

整理事業でどんどん開発され、桜学区地域は大きく発展している。その辺りの考え方を聞く。

1日も早い整備を 基本的に思っている

答 市長

桜小学校マンモス化問題については、その緊急性と計画性の下、よく教育委員会とも相談をしながら進めさせてほしい。

一日も早く整備をしていかなければならないということは基本的に思っている。大変な予算を要することであり、財政計画もしっかりと考えながら対応していきたい。

地球温暖化対策に 二毛作の推進を

問

(米を収穫した後の)9月から3月頃まではほとんど農地が空いており、地球温暖化によくない。

その時期にタマネギ、ニンニク、ネギを植えればO₂ができるが、次の事項を尋ねる。

- (1) 補助金はもらえないか。
- (2) バイオエネルギーをつくってはどうか。
- (3) 産地づくり推進交付金(従来)の転作助成金に代わり、地域の特色ある農業事業に対する助成)はもらえるのか。

農業の基本は米作 だと思っ

答 市長

(1)二毛作のことも確かに大事だが、農業の基本は米作だろうと思う。

減反を奨励するのではなく、農地の有効活用をし、もっと物をつくるということが第一義的ではないかと思っっている。

二毛作では桑名市長島町のナバナがブランドになっている。高齢化という中で大根等の重い野菜ではなく、軽くて付加価値の高いものをJAや県の農政が考えるべきだろうと思う。そういつた中で、弥富初のブランドができればと思う。ぜひJA等とも勉強会をしたい。

補助金等の問題は現状のものを中心に考えたい。

- (2) 小麦や大豆に変わって(燃料用の)トウモロコシをつくるのは反対である。小麦の相場が非常に高くなり、農産物の価格が上がった。

バイオエタノールの研究をするならば、雑草やよしで作成してほしい。

答 開発部長

- (3) 確認時期である7月に作付けされているかどうかの問題がある(ので「問」の品目は難しい)。